

飯盛物語 3



学校教育目標

「命をだいに 人をだいに 自然をだいに美しく」

～やる気(心) 思いやりの心 たくましい心の育成～

飯盛中テーマ「自立 創造 貢献」

R7年度の合言葉「日々安心！」

～生徒一人ひとりに居場所があり

日々安心して頑張れる教室に！～

第6話 令和7年7月8日発行

校長 池田英二

6月11日(水)車椅子贈呈式！

諫早市で2校（伊木力小学校と本校）が選ばれて、ライオンズクラブから市教委の教育総務課を通じて、車椅子の贈呈式がありました。本校には、車椅子がなかったので大変うれしいプレゼントでした。これからさらに安心・安全な学校づくりを推進していきたいと思っています。この車椅子は保健室で管理して、必要なときに使用するようにしていきます。



6月19日(木)～20日(金)1学期期末テスト終了！

1学期の期末テストが終わりました。1年生にとっては初めての「定期テスト」でした。どのように勉強し、どのようにテストを受ければいいのかわからない生徒もいたかもしれません。しかし、担任の船津先生、大畑先生を中心に、1年生の先生方が、中学生の勉強のやり方から答案用紙の配り方から試験開始のタイミングに至るまでしっかりと指導されました。



どの学年にとっても、1学期の期末テストは、1学期の学習の総まとめでもあるし、これまで学んだことがどれだけ身についているのかを確認するためのものでもあります。生徒一人ひとりが納得のいく勉強を最後の最後まであきらめず、粘り強く行っただけだと思います。全校生徒の皆さんお疲れ様でした。ゆっくりと休んでまた頑張っていきましょう。

6月23日(月)～27日(金)「飯盛っ子の心を見つめる教育週間」

長崎県下全域で「長崎っ子の心を見つめる教育週間」が実施されました。飯盛中学校では、「飯盛っ子の心を見つめる教育週間」と位置づけ、学校を開放いたしました。初日の23日(月)には、「いじめ根絶」に向けての校長講話をおこないました。自分の命も他人の命も、この世の中に、たった一つしかない、一番尊いものです。私は、飯盛中の146名の生徒一人ひとりが「命の輝き」を大切にする人に育ってほしいという願いをこめて講話をおこないました。

6月25日(水)の昼休みには、第1回飯盛中学生徒会「いじめ対策特別委員会」を校長室で実施しました。最初に校長が「いじめの定義」と「いじめについての校長の方針」について説明しました。そして生徒会長といじめ根絶アドバイザーからのあいさつがあり、各学年に分かれて今後の取組について話し合いました。

そして25日(水)の午後には、諫早商業高校の小原友紀先生によるサイバーセキュリティの出前授業がありました。小原先生には、「メディアの安全な利用の仕方とメディアコントロール」について、分かりやすく教えていただきました。

27日(金)には、全クラスで道徳科の「生命尊重の授業」の授業参観と学年PTAが実施され、多くの保護者の皆様、地域の皆様にご参観いただき、たいへんありがとうございました。ご多忙の中に、ご来校いただき、生徒たちの真剣に学ぶ姿を通して、「飯盛っ子の心」を見つめていただいたことだと思います。今後とも、本校教育へのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



7月2日(水)令和7年度「少年の主張」諫早市大会

先日、小野ふれあい会館で「少年の主張」諫早市大会が開催されました。

本校3年生船津芽生さんが市内中学3年生16人の6番目に、緊張しながらも堂々と発表しました。船津さんの演題は「努力は必ず報われる」です。発表原稿を紹介いたします。

「努力は必ず報われる」



誰しも一度は悔しい思いをした経験があると思う。勉強や部活動など様々だが、皆が生活していく上で、人と競う場面が多々ある。そんな時、ふと「今まで頑張ったのに」「あの子に負けた」と思ったことはないだろうか。今までの努力が否定された、そんな気分になったことはないだろうか。こんな時「日々の積み重ね」「努力は報われる」という言葉が嫌になる。しかし落ちこんでいたら、いつまで経っても前に進めない。だから皆は毎日必死に日々生活を送っている。そんな時私たちはどのようにモチベーションをもって努力すればよいのだろうか。本当に日々の積み重ねは大切なのだろうか。私の実体験をもとに考えてみたいと思う。私の苦手科目は社会だ。暗記がとにかく苦手で、覚えてもすぐに忘れてしまう所が欠点だ。二年生の頃は、社会の用語を覚えるため何度も自主学習ノートに問題を解いた。春休み期間は、休み明けに行われる県・全国学力テストの勉強に集中しており、社会は含まれていなかったためあまり復習ができていなかった。その結果、朝学習で解いたことがある問題も思い出すことができず、解けなかった。私は危機感を覚え「春休みに復習をしていなかったからだ」と確信した。「社会と理科は暗記科目だから覚えるしかない。」といつも祖父が口にしていた言葉を思い出した。確かにそうだ。暗記が苦手だからこそ復習しなければいけないのに、そんな私がしっかりと勉強を行えていなかったからだ自分に言い聞かせるように考えた。この経験から私は「日々の積み重ね」が大事だと気づいた。これが私の失敗談だ。成功談もある。私は陸上部に所属しており、短距離を専門に頑張っている。陸上では冬に冬練習といい、きついトレーニングをする時期がある。この時期に選手達は、それぞれ自分に足りない部分を強化している。私の欠点は腕振りと体力面だ。冬季中、私は欠点を改善するためケツワレするほど走りこんだ。百メートルを軽く走れるようにと指導され、二百、三百メートルを何十本と走った。また、走っている時も腕振りを意識することでフォームが奇麗になったと言われるようになった。部活内でも、「ファイト！」など皆で声を掛け合い、きつい練習も乗りこえられた。そして冬季明けの大会では、どの競技も自己ベストを更新することができた。最後の中総体では、リレーで決勝に残り、入賞までは届かなかったもののベストタイムを出すことができた。走り終えた後、会場内の拍手が全て飯中や自分に向けられているように感じ、今まで頑張ってきたよかったですと抱えてきた気持ちが出て泣きそうになった。この時、私は、今までの努力が報われた気持ちがして、とても嬉しかった。私がここまで頑張ってきたのも、自分で高い目標を決めて、そこに向かって一生懸命努力をしてきたことと仲間と互いを高めあいながら走ってきたからだと思う。今までの努力の積み重ねをしっかりと自分のものにすることができたことは、自分だけの力ではなく、周りに支えてくれる人がいたからだと考える。そのためにも、私たちは今の自分を見つめ直して、さらに成長できるよう努力して行かなければならない。今年、私たちは受験生だ。自分でしっかりと目標を立て、全員が第一志望校に合格できるように、切磋琢磨しあっていきたいと思う。私は、これからも目標達成のために努力し続ける。「努力は必ず報われる」それを私が証明してみせる。

7月4日(金)14:00～ 花植えボランティアとクリーン活動(1年生・3年生)

2年生が職場体験学習の期間中だったので、3年生が花植ボランティアを、1年生が飯盛町のクリーン活動を行いました。3年生は「大潮」横の駐車場に集合して、飯盛町の国道横にあるプランター



への花の苗植えを行いました。プランターの中の雑草や古い花を抜いて、残った土を耕して、役割分担をして協力しながら花を植えていきました。流石、3年生です。猛暑の中にもかかわらず、水分補給をしながら短時間で花植作業を終えることができました。1年生も月の丘公園を中心に、しっかりとごみ拾いを行うことができました。1年生も3年生も飯盛町の環境美化のためによく頑張りました。花植え作業の手順は、「飯盛町美花の会」の皆様、丁寧にわかりやすく教えていただきました。ご指導ありがとうございました。これから飯盛町のごみがさらに少なくなり、飯盛中の生徒たちが協力して植えた花の苗が、国道251の歩道で美しく大きく育つのが楽しみになりました。